

記入日	2016年01月30日
所属学部・学科 ／ 研究科・専攻	<input type="checkbox"/> 理工学部 学科 専攻 <input checked="" type="checkbox"/> 理工学研究科 建築学専攻国際プロフェSSIONALコース
留学先国	フランス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: パリ・ラヴィレット建築学校 現地言語: ECOLE D' ARCHITECTURE DE PARIS LA VILLETTE
留学期間	2015年09月～2016年01月
留学した時の学年	修士1年生(渡航した時の本学での学年)
留学先での学年	修士2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
出発年月日	2015年08月28日
帰国年月日	2016年02月05日
明治大学卒業予定年	2017年03月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月中旬～2月上旬 2学期:4月中旬～7月上旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	2000
創立年	

留学にかかった費用(概算)

留学費用項目	現地通貨(€)	円	備考
授業料	0	540000 円	
宿舍費	2450	円	
食費	1000	円	
図書費	100	円	
学用品費	40	円	
教養娯楽費	200	円	
被服費	150	円	
医療費	0	0 円	
保険費	240	円	形態: 学生社会保険(仏)
渡航旅費		120000 円	
雑費	500	円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		円	

出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

前年度以前に同大学に留学していた先輩に話を聞き、単位交換の件や取るべき授業の把握などをできるだけ行いました。滞在先住居はインターネットで探しました。フランス大使館の行うフランス留学準備セミナーに参加し、滞在中の移民局への手続きやフランスでの銀行口座の開き方等を予習しましたが、滞在期間によっては手続きの有無等の差異があるのでよく情報を集め取捨選択することが重要です。海外通貨の引き出せる日本の銀行口座を渡仏前に開設し、滞在先で活用しました。準備不足だったことは語学学習でした。渡仏後に語学学校に入るのは受講料も高額で多国籍の人と同時に授業を受けるのでフランス語に慣れていない間はあまり意味がなさそうだと感じました。他のヨーロッパの国に比べフランスは英語を日常的に使う習慣がなく、授業もフランス語で行われるものが大半なので最初は大変苦労しました。基礎的な文法、日常会話程度を修得してから留学することを強くお勧めします。

留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類:学生ビザ(短期)	申請先:フランス大使館
ビザ取得所要日数:1週間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:15000円

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか?また、どのように手配しましたか?

本籍証明書。銀行通帳のコピー。経済証明書。
受け入れ先機関からの受け入れ証明書(入学許可証)。大学間協定留学なので大学の事務を通して手配しました。
キャンパスフランスというサイトへの学歴や個人情報の入力に義務付けられており、Web上での認定申請後手数料を振込みました。

具体的な申し込み手順を教えてください。

フランスの受け入れ先大学からキャンパスフランス(学生用 Web 登録サイト)の案内があり、登録・会員番号を取得後、その番号を受け入れ先に伝達。その後キャンパスフランス上の学歴等の入力を完了後、認定申請をして2日間ほどしてから認定され、手数料を振込む。その後フランス大使館の指定する手続き書類をすべてそろえてビザセクションに提出。(水曜の午前のみ予約なしで手続き可。それ以外は予約制。)

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?

面接なし

ビザ取得に関して困った点・注意点

7月中旬から8月にかけてビザセクションは大変混雑するので、早めの申請をお勧めします。書類の不備があるとまた次の週に大使館まで出向かなければならないのでしっかり準備・確認してからいくこと。

留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

SIMフリーの携帯を日本にいるうちに購入しておくべきです。

現地到着後のながれ				
1.到着時の様子				
利用航空会社	エールフランス航空			
渡航経路	直行便			
渡航費用	チケットの種類:エコノミー 航空券代:120000円(<input checked="" type="checkbox"/> 往復, <input type="checkbox"/> 往路のみ, <input type="checkbox"/> 復路のみ)			
航空券手配方法	旅行サイトトラベルコちゃん ※利用した旅行社・旅行サイト, ガイドブック, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。			
大学最寄空港名	パリ・シャルルドゴール空港	現地到着時刻		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー <input checked="" type="checkbox"/> その他空港から市内への送迎車
移動の所要時間	30分			
空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等				
日本からネットで送迎車を予約して日本円で約 5000 円程。空港で迎えてくれたうえ、行先は市内なら自由なので安心だった。タクシーは日本よりは安いのが空港から市内だと高額になるでしょう。地下鉄 RER 線というのが通っていて中心地まで 30 分くらいでつきますがそこからメトロに乗り換えるとパリのメトロは大体階段のみしかないため乗換や地上に出る際荷物が多いと大変です。空港から決まった中心地の行先へのバスも出ているはずですよ。				
大学到着日	8月30日10時頃			
2.住居について				
到着後すぐに住居入居できましたか?	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方:09月01日から入居可能だった。		
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他(部屋借りシェアハウス)			
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()			
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()			
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()			
住居の申込み手順	掲示板サイト mixB にてシェアハウスを検索、家主に連絡を取り契約。			
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?滞在先の感想も書いてください。				
渡航前に決めましたが渡航前は時期的に物件が埋まるケースも多く、1件目は入居決定後に断られ、急いで他の物件を探しました。渡航後に実際に物件を見てから決める友人もいましたがその場合住居環境に納得してから決められますがこれも混雑しますので大変そうでした。パリ国際大学都市という学生寮もありますが、これの申し込みは4月末くらいだったので留学許可証が間に合わず残念でした。				
3.留学先でのオリエンテーションについて				
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった			
日程	9月17日14時半～			
参加必須ですか?	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加			
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)			
内容と様子は?	学長挨拶、年間スケジュール、学生団体の説明			
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった			
授業開始日	9月21日から			
その他、渡航してから必要な手続きについて・現地情報				
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか?いつ、どこで、方法は?日数、料金は?トラブルは?				
半年留学の場合、移民局に滞在許可証を申請する必要がありませんでした。緊急時等のためのインターネットから申し込める滞在証明は任意・無料で登録可能でした。				
2. その他現地でした手続きは?(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は?トラブルは?				

あちらの学校の事務手続きの一環で、学生社会保険に 223 ユーロで入ることが必須でした。あちらの郵便局で支払いました。
3. 現地で銀行口座を開きましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？
いいえ。
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？
大きな家電量販店で一番安い 100€ほどの SIM フリーのスマホを買いました。必要書類はなく、かなりスムーズに買えました。携帯本体は何も煩わしいことはないですが、SIM を月額制で購入するのに銀行口座が必要なようでした。私の場合フランス人の友達に代理で購入してもらい後払いで SIM を使用していました。
5. 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？
いいえ。
6. 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
留学生担当の事務の方が数人いらっやったので困ったときはそこに行きました。
7. 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
パリでテロが起こったとき私はちょうど帰宅途中でしたが、何事もなく帰宅することができました。帰宅後すぐに同居していた大家さんに状況を知らされ、非常事態宣言が出てからは夜の外出を控えました。危険地域情報に関しては自分でインターネットで英語でのニュースや日本のニュースで情報を集め、テロ以前から知り合いになっていたパリに滞在している日本人同士で情報共有に努めました。
8. パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
自宅にある WIFI は問題なく利用できましたが、学校にある WIFI がとても接続が弱く特定の場所でたまにしか利用できませんでした。カフェやレストランに入れば WIFI が大体は使えます。
9. 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。
特にはありませんが、私の場合肌が弱いので洗顔料や化粧水等使い慣れたものを買いだめして持っていきました。
履修科目と授業について
1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？
<input type="checkbox"/> 出発前に(月 日頃)
<input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類に記入して登録 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他()
<input checked="" type="checkbox"/> 到着後に(9月21日頃)
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等の仲介 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他()
登録時に留学生として優先されることは <input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
優先が「あった」方はどのように優先されましたか？
留学生にだけ特別に、履修数の制限内であれば学年や学期に関係なく取りたい授業を取ることが可能でした。また、希望通りの授業をとれるように手配してくれていたようでした。
優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？ また希望通りの授業が取れましたか？
卒業後の進路について
1. 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2. 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3. 上記の項目で就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4. 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。
 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

就職活動の時期に関して、今回の交換留学は修学年数を延期することなく一般的な就職活動の真っ最中に帰国することになります。情報収集に努めれば、就職活動を帰国後すぐに始めることができます。が、企業によっては面接に帰国日が間に合わなかったり、大半が1月に行われるポートフォリオ相談会に参加できないという不利な点もあります。

5. 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6. 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7. その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

進路に関する情報は、今後留学を考える方の情報として、本報告書の公開のみならず、国際教育センターや就職キャリア支援事務室の関連ホームページや冊子等、留学説明会において、匿名のデータとして公開することがありますので、ご了承下さい。なお、冊子やホームページに公開する前には皆さんに原稿の校正をお願いすることがありますのでご協力お願い致します。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00				起床		起床	
9:00				デザインスタジオ		集中講義	起床
10:00	起床	起床	起床	デザインスタジオ	起床	集中講義	自宅でフランス語の勉強
11:00				デザインスタジオ		集中講義	
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
13:00	建築図書館で勉強	自宅でフランス語の勉強	写真の授業	デザインスタジオ	自宅でフランス語の勉強	集中講義	
14:00			写真の授業	デザインスタジオ		集中講義	
15:00			写真の授業	デザインスタジオ		集中講義	
16:00			写真の授業	デザインスタジオ		集中講義	
17:00				デザインスタジオ		集中講義	
18:00			フランス語の授業	デザインスタジオ		集中講義	
19:00	夕食	夕食	フランス語の授業	デザインスタジオ	友人と夕食	集中講義	夕食
20:00			夕食	夕食		夕食	
21:00							
22:00							
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

※単位認定結果に関する項目は理工学部事務室にて記入します。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 2単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
SCENOGRAPHIE AND ARCHITECTURE : FROM THE WORK OF ART TO SPACE	空間演出と建築:芸術作品から空間へ
科目設置学部・研究科	建築学科
履修期間	2015 年 9 月～2016 年 1 月
単位数	13
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	演習形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 480 分が 17 回
担当教授	M. DESSARDO, G. GRIBÉ, M. MAZLOUMAN, J. GAUTEL
授業内容	舞台の空間演出と劇場建築の分析
試験・課題など	空間演出の最終プレゼンテーション、分析課題のプレゼンテーション
感想を自由記入	舞台上の空間構成はインテリアよりも難しく、人の行動や見られ方等細部までデザイン検討を重ねるので今までにないデザイン思考が試みれたのでとても良かったです。教授のほとんどがフランス語のみ使用する方々だったので大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
DETOUR IN SCULPTURE !	回り道の彫刻
科目設置学部・研究科	建築学科
履修期間	2015 年 9 月～2015 年 10 月
単位数	2
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集中型演習形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 480 分が 5 回
担当教授	M. DESSARDO, Y. ROUBY
授業内容	段ボールの特性を生かした人の行動を変えるインスタレーション
試験・課題など	インスタレーションを校内に製作・展示
感想を自由記入	段ボールという身近な素材を使って大きな創作物をするので構造面や空間演出が難しく試行錯誤しましたがその過程が良かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
OPTIONAL PHOTO	オプションフォト
科目設置学部・研究科	建築学科
履修期間	2015年9月～2016年1月
単位数	2
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	演習・講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に210分が14回
担当教授	HERVÉ JÉZÉQUEL
授業内容	写真技術・写真家に関する講義と演習
試験・課題など	個人作品と演習課題の提出
感想を自由記入	使用言語はフランス語ですが、スライドによる講義だったので比較的理解しやすかったです。個人の作品は教授と相談して創作するため、プロの意見を聞いた写真集が作れて良い経験となりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
MODERN LANGUAGES	近代言語
科目設置学部・研究科	建築学科
履修期間	2015年9月～2016年1月
単位数	2
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が14回
担当教授	Francoise Huet
授業内容	フランス語学習
試験・課題など	学期末試験
感想を自由記入	フランス語初心者向けでとてもやさしく、建築用語などを優先的に教えてもらったので大いに役に立ちました。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：
語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2015年 1月～3月	
4月～7月	出願、留学先大学との認定手続き。 ビザ取得のための準備。 語学学習。
8月～9月	ビザ申請。 渡航準備。 学期前語学集中講座(現地)。
10月～12月	履修登録。 授業。
2016年 1月～3月	学期末テスト・プレゼンテーション。旅行。帰国。
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私は明治大学の理工学研究科建築学専攻の国際プロフェッショナルコースに所属しており、日本にいたるときから留学生と議論をしたり海外ワークショップに参加したり、国際的な活動に興味がありました。留学の案内を聞き、ヨーロッパの学生が集まるその大学で様々な感性にふれてデザインを学びたいと思いました。また、グループワークの中での自分の意見を言葉ではなく形やデザインで示す力をつけたいと考えました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	フランスは英語よりもフランス語でコミュニケーションを取ることがフランス社会で人と付き合ううえでとても重要です。私は英語で話すことにいづらか慣れていますが、最初の頃フランス語が全くわからなくてとても苦労しました。日本人にとって発音や文法が難しく感じる語学であり、日本にいたときに全くと言っていいほどふれることのない語学です。ですがフランスに来てから基礎から自己学習するのは本当に大変ですので、基礎文法や単語等は十分に学習して準備をしておけば良かったと思います。
この留学先を選んだ理由	以前からヨーロッパで建築やデザインを学びたいと考えていました。特にフランスでは、学生や市民に対して芸術文化を開いていこうという姿勢が強くみられます。
大学・学生の雰囲気	大学全体の雰囲気は自主性が重んじられ、カフェテリア等も学生によって運営されています。定期的にイベントも行われ、交流に対し意欲的でした。学生によって学習姿勢はバラバラで自己主張が重要視されます。
寮の雰囲気	なし
交友関係	フランス人は少し内向的な面があるので、自分から友達を作る努力をしました。留学生同士(イタリア人やアルジェリア人)は比較的すぐ仲良くなれたので、ホームパーティーなどをして交流を深めました。
困ったこと、大変だったこと	授業・私生活ともに、フランス語至上主義な場面が多くみられ、苦労しました。自分から喋ろうとする努力が重要です。 留学期間中テロが起こったので少し大変でした。
学習内容・勉強について	私は舞台装置の設計をするデザインスタジオをとっていました。フランス語が公用され、グループワークで抽象的かつ可変的な空間を作ること、さらにはその空間には上演時の機能性を考慮しなければならないことがとても大変でした。ですが教授は建築の専門家だけではなく、シアターデザイナーや研究者も参加していたので、良くも悪くもさまざまな意見が聞けて貴重な体験になりました。
課題・試験について	中間と最終でプレゼンテーションの場が設けられていました。最終プレゼンではパリの他のデザインスクールと競技形式で模型と冊子等で発表し、それも大変興味深い体験でした。
大学外の活動について	日本人とフランス人が交流する会に参加したり、建築系でフランスで働いている日本人とも交流を深めました。
留学を志す人へ「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等	いかに準備をし、留学前のモチベーションを保ち続けるかが大切です。

大学の様子

